様式第２号　別紙１

木造社会福祉施設老朽度調査表

都道府県・市区町村名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （法人名）施設名 |  | 建物の名称 |  |
| 老朽度Ａ点×Ｂ点×Ｃ点（係数）＝　　　　　　　　　点 | 調査員職　名　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　印 |
| Ａ構造耐力 |  | 区　　　　分 | a | 点 | b | 点 | c | 点 | d | 点 |
| ①基　　　　　　　礎 | 布コンクリート造 | 15 | 布石積造、布レンガ造 | 10 | 壺石造、壺レンガ造、壺コンクリート造 | ５ | 掘立柱木杭基礎 | ０ |
| ②土　　　　　　　台 | 15.2㎝角以上 | 15 | 12.1㎝角以上15.2㎝角未満 | 10 | 12.1㎝角未満 | ５ | 土台なし | ０ |
| ③柱 | 二階以上の階を有する場合の一階の柱 | 15.2㎝　又は13.6㎝角以上　角以上２本 | 20 | 13.6㎝　又は12.1㎝角以上　角以上２本 | 15 | 12.1㎝角以上 | 10 | 12.1㎝角未満 | ０ |
| 平屋の場合の柱 | 13.6㎝　又は12.1㎝角以上　角以上２本 | 12.1㎝　又は10.6㎝角以上　角以上２本 | 10.6㎝角未満 | 10.6㎝角未満 |
| ④根　　　　　　　継 | ア　大部分（半数以上）柱を根継ぎしたことがある。　　　　　　　　　　　　本のうち　　本　　　（乗率0.8）イ　小部分（半数以上）の柱を根継ぎしたことがある。　　　　　　　　　　　本のうち　　本　　　（乗率0.9）ウ　根継ぎした柱はない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（乗率1.0） |
| ※評点　　　　　上記①～③の計　　　　　　　　　　④　0.8　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　）点×　　　0.9　　　＋50点＝（　　　　　）点　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1.0 |
| Ｂ保存度 | 区　　　　分 | a | 点 | b | 点 | c | 点 | d | 点 |
| ①経過年数 | ５年未満 | ５ | ５年以上18年未満 | ３ | 18年以上30年未満 | ２ | 30年以上 | ０ |
| ②基礎の不同沈下 | ない | ６ | ほとんどない | ４ | かなりある（見てわかる程度） | １ | ひどい | ０ |
| 腐朽度 | ③外壁の土台 | ほとんど腐っていない | ７ | 少し腐っている | ４ | 腐れがひどい | １ | ほとんど腐っている | ０ |
| ④外壁の柱 | ほとんど腐っていない | ７ | 少し腐っている | ４ | 腐れがひどい | １ | ほとんど腐っている | ０ |
| ⑤梁（はり） | ほとんど腐っていない | ５ | 少し腐っている | ３ | 腐れがひどい | １ | ほとんど腐っている | ０ |
| 傾斜度 | ⑥柱 | ア　梁　　行　（はりゆき） | １㎝未満180㎝ | 20 | １㎝以上２㎝未満180㎝ | 15 | ２㎝以上３㎝未満180㎝ | 10 | ３㎝以上180㎝ | ０ |
| イ　桁　　行　（けたゆき） | 20 | 15 | 10 | ０ |
| ⑦横架材 | ウ　梁　　行　（はりゆき） | １㎝未満　180㎝ | 15 | １㎝以上２㎝未満　180㎝ | 10 | ２㎝以上３㎝未満　180㎝ | ５ | ３㎝以上　180㎝ | ０ |
| エ　桁　　行　（けたゆき） | 15 | 10 | ５ | ０ |
| ※評点　　　　　　　　　上記の計（　　　　　　）点 |
| Ｃ外力条件 | a　海岸からの距離 | b　積　　　　　　　　雪 | c　地　　　　　　　　盤 |
| ①　海岸から８㎞をこえる | ①　毎年少ない（０～20㎝未満） | ①　普　　通 |
| ②　海岸から４㎞をこえる８㎞以内 | ②　毎年かなりつもる（20～100㎝未満） | ②　やや軟弱 |
| ③　海岸から４㎞以内 | ③　毎年ひどくつもる（100㎝以上） | ③　軟　　弱 |
| ※評点（外力条件分類番号ａｂｃ）下記（附表）より |
| （附表）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 係　　数 | 1.00 | 0.98 | 0.96 | 0.94 | 0.92 | 0.90 | 0.88 | 0.86 | 0.84 | 0.82 | 0.80 |
| 外力条件分類番号 | ①①① | ②①① | ①①②①②①③①① | ②①②②②① | ①①③①②②①③①③①②③②① | ②①③②②②②③① | ①②③①③②③①③③②②③③① | ②②③②③② | ①③③③②③③③② | ②③③ | ③③③ |

　 |

（注）１　この調査表は、老朽施設と認められる建物ごと（棟別）に作成すること。

　　　２　Ａ及びＢ欄の記入は、各区分ごとに該当点数を○で囲み、それぞれの評点を所定欄に記入すること。

　　　３　Ｃ欄は、ａ、ｂ、ｃの各分類ごとに該当する事項の分類番号を組み合せにより附表から係数を求めて記入すること。

　　　　　なお、外力条件の地盤のうち「軟弱」とは、腐植土、泥土、沼土及び沼土等を埋めてから３０年に満たないところであり、「やや軟弱」

とは、軟弱地盤であるが、埋立ててから３０年経過したもの又は地質的な原因で普通地盤より軟弱なものである。

　　　４　傾斜度の測定法は、次によることとする。

　　　（１）柱の傾斜度は、もっとも傾斜のひどい柱の床上１８０cmの長さについて垂直線を基準にして測定すること。

　　　（２）横架材の傾斜度は、もっとも傾斜のひどい梁と桁のそれぞれ１８０cmの長さについて水平線を基準に測定すること。

 ５　本調査表の作成にあっては、１級建築士の資格を有し、責任ある者によるものとする。